

平成30年生駒市教育委員会第6回定例会会議録

1 日 時 平成30年6月26日(火) 午前9時35分～午前11時8分

2 場 所 生駒市役所 401・402 会議室

3 審査事項

- (1) 報告第6号 臨時代理につき承認を求めることについて
(平成30年生駒市議会第4回(6月)定例会提出議案の意見について)
- (2) 報告第7号 臨時代理につき承認を求めることについて
(生駒市社会教育委員の委嘱について)
- (3) 報告第8号 生駒市学校教育のあり方検討委員会委員の委嘱について
- (4) 報告第9号 平成30年度幼稚園・保育園訪問の結果について
- (5) 報告第10号 平成30年度小学校・中学校訪問の結果について
- (6) 議案第15号 平成30年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について
- (7) 議案第16号 生駒市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

4 出席委員

教育長	中 田 好 昭		
委員(教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委員	寺 田 詩 子
委員	神 澤 創	委員	浦 林 直 子
委員	坪 井 美 佐	委員	レイノルズあい
委員	西 井 久 之		

5 事務局職員出席者

教育振興部長	真 銅 宏	生涯学習部長	八 重 史 子
教育振興部次長	吉 川 和 博	教育総務課長	辻 中 伸 弘
教育指導課長	城 野 聖 一	学校給食センター所長	植 島 秀 史
こども課長	前 川 好 啓	こども課指導主事	川 田 奈 津 子
こども課指導主事	新 土 和 美	子育て支援総合センター	辻 本 多 佳 子
生涯学習課長	向 田 真 理 子	図書館長	西 野 貴 子
スポーツ振興課長	・ 岡 秀 高	教育総務課課長補佐	山 本 英 樹
教育指導課課長補佐	滝 澤 治 生	こども課課長補佐	松 田 悟
生涯学習課課長補佐	梅 谷 信 行	スポーツ振興課課長補佐	西 政 仁
教育総務課(書記)	牧 井 望	教育総務課(書記)	鬼 頭 永 実

6 傍聴者 0名

午前9時35分 開会

○開会宣告

○日程第1 前回会議録の承認

○日程第2 会期・会議時間の決定

○日程第3 諸般報告

- ・7月の行事予定について、辻中教育総務課長、向田生涯学習課長から報告
- ・教職員の夏期研修について、城野教育指導課長から報告

<参照：参考資料1（非公開）>

（質疑） なし

○日程第4 報告第6号 臨時代理につき承認を求めることについて（平成30年生駒市議会第4回（6月）定例会提出議案の意見について）

- ・平成30年生駒市議会第4回（6月）定例会提出議案の意見について、辻中教育総務課長から説明

<参照：議案書 p 1 >

（質疑） なし

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第5 報告第7号 臨時代理につき承認を求めることについて（生駒市社会教育委員の委嘱について）

- ・生駒市社会教育委員の委嘱について、向田生涯学習課長から説明

<参照：議案書 p 6、資料1 >

（質疑） なし

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第6 報告第8号 生駒市学校教育のあり方検討委員会委員の委嘱について

- ・生駒市学校教育のあり方検討委員会委員の委嘱について、辻中教育総務課長から説明

<参照：議案書 p 9 >

（質疑） なし

審議結果 【報告のとおり承認】

- 日程第7 報告第9号 平成30年度幼稚園・保育園訪問の結果について
・平成30年度幼稚園・保育園訪問の結果について、前川こども課長から説明
＜参照：議案書p11＞
(質疑) なし

審議結果 【報告のとおり承認】

- 日程第8 報告第10号 平成30年度小学校・中学校訪問の結果について
・平成30年度小学校・中学校訪問の結果について、城野教育指導課長から説明
＜参照：議案書p15＞
(質疑)

飯島委員：先ほど日程第4にて、大型ディスプレイの導入の報告があったが、実際に学校を参観し、プロジェクターによる投影よりも大型ディスプレイの方が、子ども達にとっては見やすく、教員にとっては使いやすと感じた。今後、ICT機器を購入する際も、授業の充実、教員の資質向上、ひいては教員の業務軽減に資するものとなるように、機種を選定をいただければと思う。また、日程第3諸般報告にて、教員の夏期研修についてご報告いただいたが、教員のICT機器活用スキルの向上のための研修を実施していただいているので、現場の教員はなるべくその機会を活用し、資質向上に努めていただきたい。大型ディスプレイの導入によって、どのような教育効果があったかをアピールすることで、市民の皆様からの理解を得られ、議会等で予算的な配慮を受けられると思うので、教育効果の高いICT機器活用に引き続きご尽力いただきたい。

浦林委員：何校かを見せていただいたが、各校で課題に向かって教員の皆様が努力されているのに大変感動した。一点お伺いしたいのが、議案書に挙げられている学校訪問の結果は公表し、各校で情報共有しているのか。

城野課長：本報告については、共有はしていない。

浦林委員：例えば、生駒東小学校に訪問した際、防災教育の話題が出た。有事の際に児童らを安全に保護者に引き渡すための引き渡し訓練を保護者と連携して実施していた。各校で緊急連絡先をご用意されているかとは思いますが、実際電話をかける訓練は大変珍しく、感心した。実際地震があったとき、きちんと対応できると感じたので、他の小学校にも波及していけばいいと思う。

城野課長：本報告は共有していないものの、校長会・教頭会で管理職の先生方同士で意見交換をしたり、教員の横のつながりがあるので、情報共有がしっかりされている。また、引き渡し訓練については、他校でも実施されており、有事の際は、十分に対応できるかと思う。

中田教育長：一点訂正だが、議案書はホームページにて市民に公開されている。議案書の16ページ以降の学校訪問の結果については、分かりやすいので、教職員用のグループウェアなどでの共有を願いたい。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第9 議案第15号 平成30年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について

- ・平成30年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について、真銅教育振興部長から説明

<参照：議案書p25、別冊1>

(質疑)

飯島委員：どの部分がどの程度足りていないかが分かりやすく、来年度の実施に反映しやすい、緻密な点検評価ができています。ただし、A評価が大変多い。A評価の中でも、成果が突出しており、市のPRにつながるような事業もあれば、単に目標値を達成しているのみの事業もあり、質の違いがあると感じた。例えば、A評価の中でも「S：成果が突出しており、市の魅力発信につながる」という枠組みを作るのはどうか。

真銅部長：昨年の教育委員会での話し合いにより、今の評価基準になっているが、もう一つ評価を増やした方が良いということになれば、対応させていただく。

飯島委員：A評価の中でも、達成しているものの、更なる努力を必要とする部分と、十分達成されており、今後は発展的に取り組んでいきたい部分があると思うので、ご提案していきたい。また、別冊1、27ページ、「図書館の運営と充実」について、C評価である。この項目は、枠組みが広く、評価しづらいかと思う。現在の基準としては、貸出冊数が一昨年度の10.2冊から10冊に減った点で評価をしているようだが、社会全体の傾向として、図書の販売数が減少し、昨年度は平成27年度や平成28年度に比べてミリオンセラー小説が少なかったため、その影響で書籍の貸出が減ったのではないかと思う。そのような外的要因によって左右される貸出冊数だけを基準とするより、取組が実ったか否か、つまり利用者の満足度を基準にすれば、より実情に合った評価ができるのではないかと思う。次年度以降検討していただきたい。

寺田委員：A評価は「取組完了、実施済み又は十分な効果が得られ、目標を達成した」だが、達成したということは、もうしなくていいという印象を受ける。別冊1の5ページ、「総合教育会議の開催」について、A評価である。しかし内容を見ると、就学前教育に関する記載がある。就学前教育については、現状では昨年度に基本方針を策定し、これから出発していくも

のだと思う。また、10ページの「保幼小中連携事業」について、リーフレットを作成することができたとしてAとなっているが、保幼小連携事業の終着点はリーフレットの作成ではない。これから保幼小連携を継続していく中で何をしていくのか、という部分を記載していただきたい。現在の記載では、活動内容・実績・成果のみで、当初何を目標にしていたのかが分からないので、評価しづらいのではないかと。また、同ページの「市立幼稚園における預かり保育の実施」についても、この時間で市民のニーズにきちんと対応できているのかも疑問である。平成29年度分の目的は達成されたのでA評価なのかもしれないが、今後も努力が必要な部分については、飯島委員が仰っていたように区別して評価していただきたい。

審議結果 【継続審議】

○日程第10 議案第16号 生駒市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

- ・生駒市スポーツ推進審議会委員の委嘱について、
 - ・岡スポーツ振興課長から説明
- <参照：議案書p26、資料2>

(質疑)

浦林委員：市から委嘱しているということだが、審議会を兼任することはあるのか。

八重部長：附属機関は原則3つまで兼任可能としている。

中田教育長：附属機関及び懇談会等の取扱いに関する指針において、男女比や兼任等について、内部的に取り決めをしている。

西井委員：構成員を見ていると、施設長やインストラクターなど、施設を提供する側の方が多い。施設を利用している人たちから選出されると、より多くの意見をくみ取れると思う。次回以降考慮していただきたい。

吉岡課長：様々なご意見を頂けるように配慮して、学識経験者や障がい者団体等、多方面から委員を選出している。施設管理者やインストラクターとして施設を提供する側ではあるが、それと同時に利用者である方も多い。次回以降、どこにも所属しておらず、単に利用している一般の方も選出できるように検討したい。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第11 その他

- ・市長専決処分（損害賠償の額の決定について）について、辻中教育総務課長から説明

(質疑) なし

- ・平成30年6月18日の大阪府北部を震源とする地震に伴う被害状況等について、辻中教育総務課長、向田生涯学習課長、・岡スポーツ振興課長より説明

<参照：その他参考資料（非公開）、追加その他資料>

飯島委員：ブロック塀について、内部の鉄筋に関する基準はあるのか。

辻中課長：高さが1.2メートル以下のものは控え壁が不要である。1.2メートルから、ブロック塀の高さの上限である2.2メートルまでの高さのものは、縦横に鉄筋を入れ、控え壁を設置する必要があると、建築基準法施行令にて定められている。今回は高さ1.2メートル以上のものを調査した。

坪井委員：生涯学習施設はすべて避難所に指定されているのか。

向田課長：避難所に指定されている。

坪井委員：建物の管理・補修、または災害時の対応は、生涯学習課が担当なのか。

向田課長：建物については、指定管理者による管理をお願いしているが、生涯学習課で連携して管理している。今回の地震に際しては、指定管理者で確認をし、営繕担当課からの専門的な視点での点検も実施した。

中田教育長：災害対策本部が設置されたら、災害の状況に応じて、指定避難所の安全確認をし、避難所開設の指示を出す。安全確認は、日中なら生涯学習施設は指定管理者、学校は学校管理職、夜間なら市職員が実施する。

寺田委員：学校・幼稚園については、定期的に安全点検をしているかと思う。今回報告された、テレビの落下、スピーカーの破損については、日常からの点検で防げたのではないか。私が現場にいた頃は、点検項目を表にして管理していたが、マンネリ化してしまっていないか心配である。今回は被害がなかったものの、授業中だったら被害が出ていたと思う。今後も日頃からの安全管理を徹底していただきたい。

飯島委員：市の施設については、早急に対応していただいている。その他参考資料、3ページにて、通学路の安全点検の報告があった。本表に記載されているものは市の施設ではないので、早急に復旧は不可能であるかと思うが、どのように対応しているのか。

真銅部長：通学路については、危険箇所を迂回するなど一部変更したものがある。その他についても、学校から児童・生徒に対し、通学時に注意するよう指示している。撤去等の具体的対応については、教育委員会のみでの対応はしかねるので、建築課・管理課等と連携しながら対応している。

西井委員：生駒市の震度計は市役所にあるが、市役所の地盤が固いため、発表された震度よりも、被害が大きい地域も見受けられる。例えば、鹿ノ台は特に地盤が緩いのか、窓ガラスの損傷など被害が大きいようだ。確認であるが、鹿ノ台小学校は耐震工事が完了しているのか。

辻中課長：耐震補強済みであり、震度7までの揺れであれば倒壊しないようになっている。地域ごとの震度を見ると、北部は震度5弱になっていたの
で、おそらく鹿ノ台も同様の揺れであったと思われる。

吉川次長：震度計は各市町村に1か所設置されている。確かに、市役所の震度計は低めに出てしまう。生駒市で出た震度をすぐに信用するのではなく、周
りの被害状況や周辺自治体の震度を見ながら対応していきたい。

西井委員：生駒市の震度計で震度4でも、地域によっては5弱程度の揺れである
場合もある。そのことについては、何も対応していないのか。

辻中課長：本市では震度5弱で警戒本部体制をとるが、市内には震度4で緊急地
震速報を通知する装置が設置されている。学校に対しては、装置が鳴
ったときの行動基準を示したプリントを配っている。

- ・生駒市立学校における運動部活動の活動の方針の改正について、城野教育指導課長
から説明

<参照：その他資料1>

(質疑)

中田教育長：送付文の主旨としては、熱中症予防、体罰について追記した。

坪井委員：最終的に運動部のみに適用するのか。

城野課長：その他参考資料1の「6. その他」のとおり、平成30年3月にスポー
ツ庁が策定した「運動部活動のあり方に関する総合的なガイドライン」
に準じ、文化部は運動部の方針に倣うこととなった。

飯島委員：前回定例会で発言した内容が、「1部活動の意義」において、部活動が
何のためにあるのかが記載されていて、大変わかりやすくなった。

- ・(仮称)生駒北学校給食センターの建設工事の着工について、植島学校給食センタ
ー所長から説明

(質疑) なし

- ・幼稚園・保育園教諭の採用について、前川こども課長から説明

(質疑)

中田教育長：経験者枠の募集について、年齢制限の上限はなしか。

前川課長：年齢制限については、大卒程度の27歳以上のみで、上限は設けていな
い。

中田教育長：今年度からの新たな採用枠であるということでもいいか。

前川課長：そのとおりである。

浦林委員：保育士不足が全国的にあるかと思うが、市の募集に対して応募者は多い
か。

吉川次長：市の正規職員なので、募集をかければ、かなり応募がある。また、今年度も、資格を持っていて一度退職された方に向けて、復帰に関する説明会をさせていただき、臨時職員の人材確保をしていく。その説明会については、民間の保育園も参加されるので、民間の保育園へのマッチングもできると思う。

- ・生駒市立学校の状況報告（小学校教諭の事故事案）について、城野教育指導課長から説明

《 個人情報を含む内容のため、非公開 》

○閉会宣告

午前11時8分 閉会